

広報せとうち7 令和6年 月号

絆で創る、魅力あふれる豊かな町づくり | みんなで早寝、早起き、ラジオ体操、朝ごはん！



まちの人口と世帯 住民基本台帳 令和6年5月末

人口 | 合計
8,160人 (前月比: +1)

人口 | 男
4,054人 (前月比: ±0)

人口 | 女
4,106人 (前月比: +1)

世帯数 | 合計
5,081世帯 (前月比: ±0)



もくじ

- 02 | 新しい仲間「地域おこし協力隊」の紹介
- 07 | 肺がん検診 ほか
- 22 | まちのできごと
請島・与路島「スターリンク」ほか
- 26 | 古高だより
- 27 | 戸籍の窓
- 27 | 7月休日当番医のお知らせ

地域おこし協力隊として 新たな仲間！



のざき くみ
野崎 久美さん



ほそや かずき
細谷 和希さん

初めまして。このたび、地域おこし協力隊として、大分県大分市から瀬戸内町に移住してきました野崎久美と申します。瀬戸内町との出会いは、2年前になります。旅をしながら離島で働くライフスタイルを送っていたときに、友人から、加計呂麻島の宿の仕事を紹介してもらったことがきっかけでした。自然の素晴らしさはもちろんのこと、そこに集う人や集落の人との関わりをはじめ、古き良き伝統文化がまだ根強く残っていること、ほどよいサイズ感の港町など、あまりにも居心地がよく、瀬戸内町の魅力に引き込まれました。その後、地元大分へ戻り、自分の拠点となる場所と仕事を探していた際に、瀬戸内町の地域おこし協力隊の募集を見つけ、ご縁をいただきました。私の担当は空き家対策・移住推進です。瀬戸内町の魅力を一人でも多くの方に知っていただき、町の活性化につながる取り組みをこれから展開していきます。空き家の活用や移住の相談をはじめ、アイデアなどありましたら、お気軽にご連絡ください。また SNS の発信やラジオ放送も行っていく予定ですので、そちらもあわせてよろしく願います！

はじめまして。

秋田県から瀬戸内町に移住してきた細谷和希です。4月から古仁屋高校支援コーディネーターとして配属となりました。東北生まれ、東北育ちですが、恩師に「お前は奄美が合ってるよ」と言われ、何度かこの美しい島を訪れた結果、「ここに住みたい！」と思い立ち、移住を決意しました。瀬戸内町の海が特に気に入りで、毎日その景色を楽しんでいます。これまでに子どもたちと関わるさまざまなプロジェクトに携わってきました。今後は古仁屋高校で、生徒たちのサポートをしながら地域に貢献していきたいと考えています。

古仁屋高校活性化対策室ではいま「ざ・シマ学」や「まちづくり研究所」などの企画を推進しており、古仁屋高校生にこの地域の魅力を伝える取り組みに力を入れています。

新しいアイデアや提案があればいつでも細谷までお気軽にお声をかけてください。皆さんのアイデアを形にできる日を楽しみにしています。これからもどうぞよろしく願います！